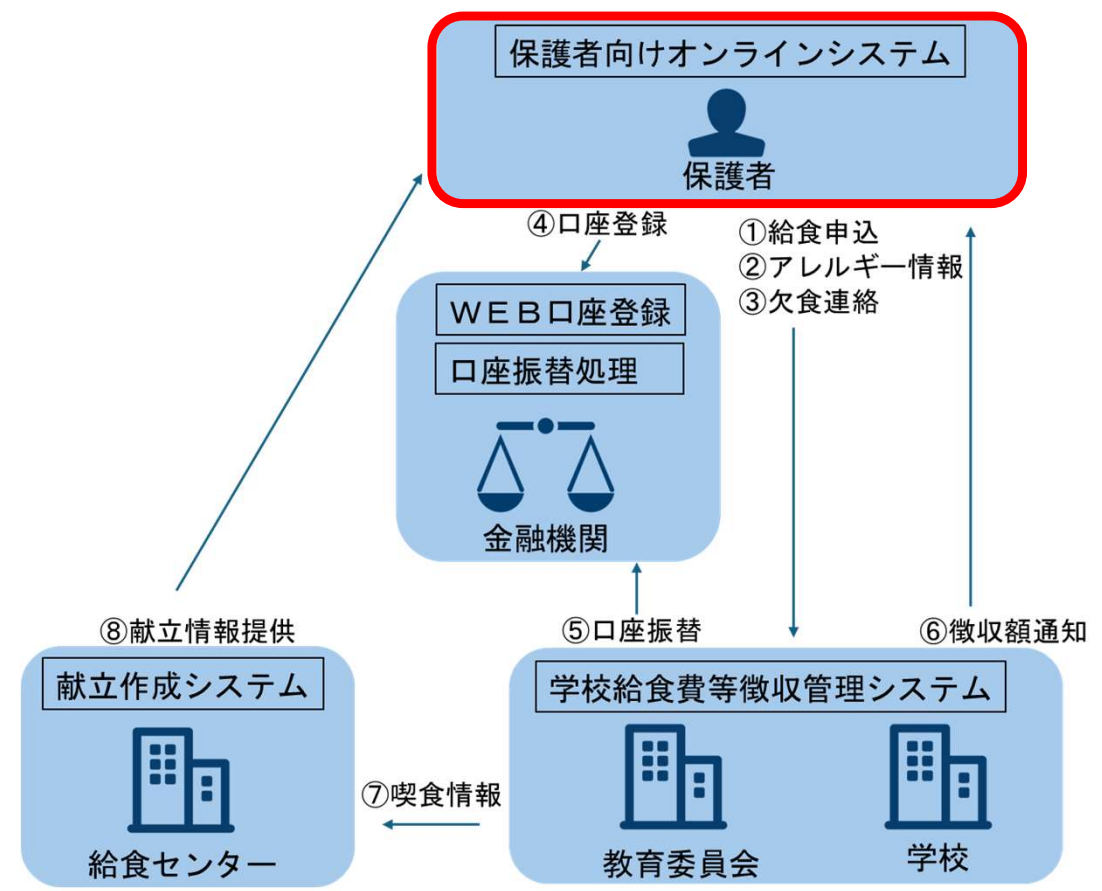


事業概要 【学校給食費等徴収管理D X 事業】

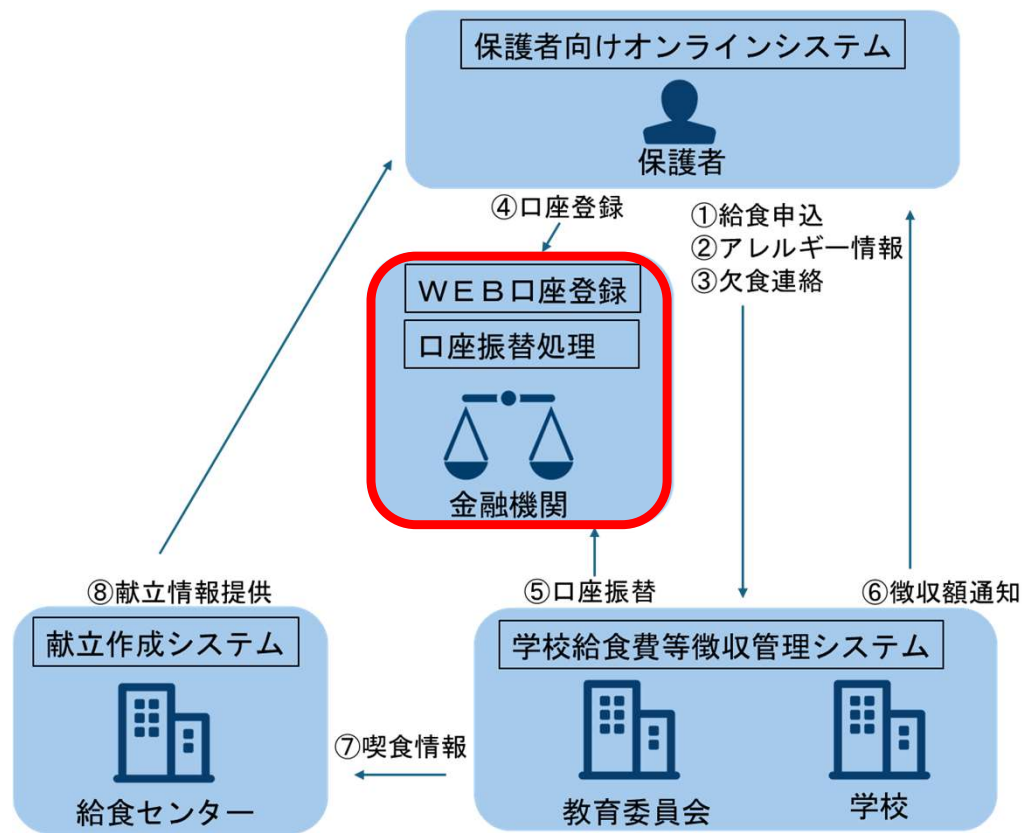
自治体名	鹿児島県鹿児島市	人口	591,544人	事業費	32,628千円
事業概要	学校給食費の一部公会計化にあたり、DXを進め、保護者が支払う給食費等のデータを一元管理し、給食センターの献立作成システムと連携して児童生徒の食数の変更やアレルギーに配慮した献立の作成、保護者への献立情報の提供を可能とし、保護者とオンラインで連絡等を可能とするシステムを構築する。給食費等を取りまとめて口座振替等で徴収し、保護者の利便性向上を図る。また、給食費等の振替口座の登録をWEB上で行う。				
具体サービス	【保護者向けオンラインシステム】 ・保護者は給食の申込や通知等を中心に、献立情報や欠席情報など、教育委員会や学校との連絡等がオンラインで可能となり、利便性が向上する。 【保護者振替口座のWEB登録】 ・保護者は学校給食費等の振替口座をWEBで登録が可能となり利便性が向上する。 【学校給食費等徴収管理・献立作成システム】 ・児童生徒の給食の喫食情報や学校徴収金の請求・支払等のデータ及び保護者の口座情報をシステムで一元管理し、透明性・公平性を担保する。 ・保護者は学校指定でなく、任意の金融機関口座を引落口座にでき、電子納付やバーコード決済も可能となり、利便性が向上する。 ・清算、返金の現金処理が減り、保護者負担や現金取扱いのリスクが減少する。 ・アレルギー情報管理と献立情報の提供により保護者の安心度が高まる。 学校給食費等徴収管理D X 事業 <pre> graph TD Parent[保護者] -- "①給食申込 ②アレルギー情報 ③欠食連絡" --> OnlineSystem[保護者向けオンラインシステム] OnlineSystem -- "④口座登録" --> WebSystem[WEB口座登録 口座振替処理] WebSystem -- "⑤口座振替" --> FinancialInstitution[金融機関] FinancialInstitution -- "⑥徴収額通知" --> CollectionSystem[学校給食費等徴収管理システム] CollectionSystem -- "⑦喫食情報" --> SchoolLunchSystem[学校給食システム] SchoolLunchSystem -- "⑧献立情報提供" --> Parent </pre>				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①保護者向けオンラインシステム利用登録者数 ②WEBによる口座登録件数 ③口座振替一括徴収対象者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①保護者の満足度（保護者向けオンラインシステム） ②保護者の満足度（WEB口座登録） ③保護者の振替手数料減（徴収管理等システム）				

サービス名	保護者向けオンラインシステム	事業費	5,280千円
ターゲット	保護者、学校教職員		
サービス内容	保護者、学校、教育委員会間で利用可能な保護者向けオンラインシステムを導入することによるメリット ○児童生徒別の I D・パスワード登録による秘匿性の高い情報交換が可能 ○学校給食費の公会計化に伴って、新たに児童生徒に対して実施する学校給食の申込や、欠食の連絡などの保護者からの申請が W E B 上で可能 ○給食額の通知や、未納の場合の納付勧奨など、個別の通知が WEB 上で可能 ○献立情報の提供や W E B 口座登録の案内も W E B 上で可能		



サービス名	保護者振替口座のWEB登録	事業費	528千円
ターゲット	保護者		
サービス内容			

- 学校給食費の公会計化にあたって、児童生徒の保護者による振替口座登録の手続きが必要
- インターネットを通じた振替口座の登録を行うことにより、保護者が学校や銀行に直接書類を提出する手間がなくなる。
- 保護者による口座登録・照合がオンラインとなるため、迅速な口座確認に繋がる。



サービス名	学校給食費等徴収管理・献立作成システム	事業費	26,820千円
ターゲット	保護者、学校教職員		
サービス内容			

児童生徒及び保護者情報を管理し、給食の喫食情報や学校徴収金の請求・支払等のデータを管理するとともに、保護者の任意の金融機関口座情報を一元管理し、口座振替による一括徴収や返金等を行う。

○保護者は学校最寄りの特定の金融機関支店に給食費等振替用の口座を開設する手間があったが、日常用いる金融機関口座からの引落が可能となる。

○口座振替以外では現金徴収であったが、バーコード決済等により利便性が高まる。

○清算・返金の場合も、これまでは現金での返金が主であったが、指定口座への払込などにより、保護者が学校へ取りに行く負担や、児童生徒に現金を持たせ紛失するなどのリスクが減少する。

○児童生徒のアレルギー情報をシステム管理することで、学校・給食センターで情報を共有できるようになり、アレルギー事故の防止、保護者の安心度の上昇に繋がる。

